

福祉・介護職員等処遇改善加算等 処遇改善計画書(令和6年度)

1 基本情報

フリガナ	〇〇ケアサービス			
法人名	〇〇ケアサービス			
法人所在地	〒	100 - 1234		
	東京都千代田区霞が関1-2-2			
	〇〇ビル18F			
フリガナ	コウロウ タロウ			
書類作成担当者	厚労 太郎			
連絡先	電話番号	03-3571-XXXX	E-mail	aaa@aaa.aa.jp

2 賃金改善計画について

(1) 加算額以上の賃金改善について(全体)

令和6年度に賃金改善が必要な額と賃金改善の見込額		
① 令和6年度の加算の見込額	(a)	8,366,100 円
i) うち、令和5年度と比較して令和6年度に増加する加算の見込額	(b)	3,977,100 円
	ア うち、令和7年度の賃金改善に充てるために繰り越す部分の見込額	(c)
② 令和6年度の賃金改善に充てる必要がある加算の見込額(賃金改善が必要な額)(a - c)	(d)	7,166,100 円
③ 令和6年度の賃金改善の見込額(②の額以上となること)	(e)	8,100,000 円

令和5年度と比較した令和6年度の増加分の配分方法		
④ 令和5年度と比較して令和6年度に増加する加算の見込額(繰越分を除く。)(b - c)	(f)	2,777,100 円
⑤ 令和6年度に④を原資として行う新たな賃金改善の見込額(ベースアップ(基本給及び決まって毎月支払われる手当の一律の引上げ)によるもの)	(g)	2,300,000 円
⑥ ⑤以外で、その他の手当、一時金等による新たな賃金改善の見込額	(h)	600,000 円
⑦ 新たな賃金改善の見込額の合計(g + h)	(i)	2,900,000 円

【記入上の注意】

- (b)には、令和5年度と比較して令和6年度に増加する加算の見込額として、旧3加算の上位区分への移行によるもの(令和6年4・5月分)並びに令和6年度改定での加算率の引上げ及び新加算Ⅰ～Ⅳへの移行によるもの(令和6年6月以降分)の合計額が別紙様式6-2から自動で転記される。このうち、令和7年度の賃金改善のために繰り越す額(c)を除いた額が、(f)に転記される。
- 障害福祉現場で働く方々にとって、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへとつながるよう、令和6年度分の加算額の全額を令和6年度内の賃金改善に充てることは求めず、障害福祉サービス事業者等の判断により、その一部を令和7年度に繰り越して賃金改善に充てることを認める。令和7年度に繰り越す額は、(b)を上回らない範囲内で各事業者等において設定し、(c)に記載すること。また、繰越分は全額令和7年度の賃金改善に充て、期間中に事業所が休廃止した場合には、必ず一時金等により福祉・介護職員その他の職員の賃金として配分すること。
- (e)・(g)・(h)には、新加算等の算定により実施する福祉・介護職員の賃金改善の見込額を計算し、記入すること。その際、加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (g)は(f)の見込額以上となること。ただし、ベースアップのみにより当該賃金改善を行うことができない場合(例えば、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定を踏まえ賃金体系等を整備途上である場合)には、必要に応じて、その他の手当、一時金等を組み合わせて実施しても差し支えない。したがって、(i)の値(g + hの合計)が(f)以上であれば差し支えない。

(2) 加算以外の部分で賃金水準を引き下げないことの誓約

<input checked="" type="checkbox"/>	処遇改善加算等による賃金改善以外の部分で賃金水準を引き下げません。
-------------------------------------	-----------------------------------

【記入上の注意】

- 「処遇改善加算等による賃金改善以外の部分で賃金水準を引き下げない」とは、①「加算取得年度の賃金の総額」から「当該年度の各加算による賃金改善所要額の総額」を除いた額と、②「前年度の賃金の総額」から「前年度の各加算額及び独自の賃金改善額」を除いた額を比較し、①の額が②の額を下回らない(加算等の影響を除いた賃金額の水準を引き下げない)ことをいう。実績報告書では、これらの賃金額の具体的な記載を求めるため、詳細な考え方は、別紙様式3-1(実績報告書)2(2)を参照すること。
- ただし、サービス利用者数の大幅な減少等の影響により、結果として加算以外の部分で賃金下がった場合には、その事情を別紙様式5「特別な事情に係る届出書」により届け出ること算定要件を満たすこととする。

(3) 賃金改善を行う賃金項目及び方法



①賃金改善実施期間		令和 6 年 6 月 ~ 令和 7 年 5 月 (12 か月)	
②賃金改善を行う給与の種類	<input type="checkbox"/> 基本給	<input type="checkbox"/> 手当(新設)	<input checked="" type="checkbox"/> 手当(既存の増額)
		<input checked="" type="checkbox"/> 賞与	<input type="checkbox"/> その他 ()
③具体的な取組内容	(当該事業所における賃金改善の内容の根拠となる規則・規程)		
	<input type="checkbox"/> 就業規則 <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	(賃金改善に関する規定内容)※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を抜き出す等すること。		
	・福祉・介護職員の基本給の引上げ(引上げ幅は、年齢、資格、経験、技能、勤務成績等を考慮して各人ごとに決定) 基本給 月給 ○○○○~○○○○円の増額 時間給 ○○○~○○○円の増額 ・その他の職員の基本給の引上げ(引上げ幅は、年齢、資格、経験、技能、勤務成績等を考慮して各人ごとに決定) 基本給 月給 ○○○○~○○○○円の増額 時間給 ○○○~○○○円の増額		
	※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期) 平成 30 年 4 月 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 予定)		
④ベースアップの実施予定	<input checked="" type="checkbox"/> 実施する	実施しない場合、やむを得ない事情	(例) ・年齢が○歳以下の若手職員についてのみ基本給の引上げを行う。 ・退職者が少なく、事業所の賃金構成の中で定期昇給の実施(基本給の引上げによる対応)による人件費の増加が大きいことから、定期昇給と一時金の増額により対応する。

3 福祉・介護職員等処遇改善加算等の要件について

(1)(参考)月額賃金改善要件Ⅰ(新加算Ⅳの1/2以上の月額賃金改善)【新加算Ⅰ~Ⅳ】
※令和6年度中は適用されないため、記入は任意

①	令和6年度の新加算Ⅳ相当の見込額の1/2	2,989,250	円	←	○
②	令和6年度の加算による賃金改善の見込額のうち、月額賃金改善による額(①の見込額以上となること)	3,000,000	円	←	

【記入上の注意】

- 令和7年度以降に新加算の算定を行う場合は、本要件を必ず満たす必要があることから、上記のグレー色のセルに「×」が付く場合は、令和6年度中(令和7年3月末まで)に、加算を原資とする一時金等の一部を基本給等の引上げに付け替えるなどの必要な対応を行うこと。

(2)月額賃金改善要件Ⅱ(旧ベア加算相当の2/3以上の新規の月額賃金改善)【新加算Ⅰ~Ⅳ】
※新加算Ⅰ~Ⅳを算定するまで旧ベア加算又は新加算Ⅴ(2)・(4)・(7)・(9)・(13)を算定していなかった事業所のみ

(3)月額賃金改善要件Ⅲ(旧ベア加算額の2/3以上の新規の月額賃金改善)【旧ベア加算】

【令和5年度から継続して旧ベースアップ等加算を算定する事業所について】

⇒ 令和6年度も令和5年度のベースアップ等加算の配分のために行ったものと同様以上の賃金改善を継続することを誓約すること

令和5年度も旧ベースアップ等加算を算定しており、令和6年度も同様の賃金改善を継続します。 ← ○

【令和6年4・5月から新規に旧ベースアップ等加算を算定する事業所について】

⇒ 新規に算定する事業所の旧ベースアップ等加算について、福祉・介護職員とその他の職種のそれぞれについて、賃金改善の見込額の3分の2以上が、基本給等(基本給又は決まって毎月支払われる手当)の引上げに充てられる計画になっていること

①新規に算定する旧ベースアップ等加算の見込額		193,300	円	←	○
②旧ベースアップ等加算による賃金改善の見込額(i・iiの合計)		198,000	円	←	○
介護職員	i)旧ベースアップ等加算による賃金改善の見込額	123,000	円	←	(73.17 %) ← ○
	うち、基本給等の新規の引上げによる賃金改善の見込額(総額)(括弧内は月額(2か月間算定とした場合))	90,000	円	←	
		(45,000 円)			
その他の職員	ii)旧ベースアップ等加算による賃金改善の見込額	75,000	円	←	(82.67 %) ← ○
	うち、基本給等の新規の引上げによる賃金改善の見込額(総額)(括弧内は月額(2か月間算定とした場合))	62,000	円	←	
		(31,000 円)			

(4) キャリアパス要件 I・II

【新加算 I～IV・V(1)～(6)・V(8)・V(11)、旧処遇 I・II】

⇒ キャリアパス要件 I と II の両方を満たすこと。

該当

キャリアパス要件 I (任用要件・賃金体系の整備等)

次のイからハまでのすべての基準を満たす。 ←

イ	福祉・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。
ハ	イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての福祉・介護職員に周知している。

⇒ 上記が「×」の場合、令和6年度中の整備を誓約すること。

令和6年度中(令和7年3月末まで)に福祉・介護職員の任用要件・賃金体系を定めず。

キャリアパス要件 II (研修の実施等)

次のイとロの両方の基準を満たす。 ←

イ	福祉・介護職員の職務内容等を踏まえ、福祉・介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①・②のうち少なくともいずれかに関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。	
イの実現のための具体的な取組内容(該当する項目にチェック(✓)した上で、具体的な内容を記載)	<input type="checkbox"/> ①	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について以下に記載すること (例) ・個別の希望に基づく研修計画を作成し、年●回以上●●研修をオンラインで受講させる。 ・月2回ランチミーティングを行い、業務の中での気づきの共有やお互いへのフィードバックを行う。
	<input type="checkbox"/> ②	資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について以下に記載すること (例) ・実務経験が3年以上の介護職員に対し、実務者研修の受講費用として、〇〇万円を支給 ・介護福祉士国家試験対策として、法人内で資格取得のための研修会を実施
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。	

⇒ 上記が「×」の場合、令和6年度中の実施を誓約すること。

令和6年度中(令和7年3月末まで)に研修等に係る計画を策定し、研修の実施又は研修機会の確保を行います。

(5) キャリアパス要件 III 【新加算 I～III、V(1)・(3)・(8)、旧処遇 I】

キャリアパス要件 III (昇給の仕組みの整備等)

次のイとロの両方の基準を満たす。 ←

イ	福祉・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。	
具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック(✓)すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> ①	経験に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。
	<input type="checkbox"/> ②	資格等に応じて昇給する仕組み ※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。
	<input type="checkbox"/> ③	一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。	

(6) キャリアパス要件Ⅳ 【新加算Ⅰ・Ⅱ、Ⅴ(1)~(7)・(9)・(10)・(12)、旧特定Ⅰ・Ⅱ】

キャリアパス要件Ⅳ(改善後の賃金要件) ⇒ 以下の欄が「○」の場合、要件を満たしている。

旧特定加算Ⅰ・Ⅱの要件(4・5月)	賃金改善額が月額平均8万円以上又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者の数	0	← ×
	キャリアパス要件Ⅳを「満たす」とした事業所数(短期入所・予防・総合事業での重複を除く。)	1	
新加算Ⅰ・Ⅱ、Ⅴ(1)~(7)・(9)・(10)・(12)の要件(6月以降)	賃金改善額が月額平均8万円以上又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者の数	1	← ○
	キャリアパス要件Ⅳを「満たす」とした事業所数(短期入所・予防・総合事業での重複を除く。)	1	

⇒ 上記のいずれかまたは全てに「×」が付いた場合、この欄に記入すること

「月額平均8万円の処遇改善又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者」を設定できない場合その理由

小規模事業所等で加算額全体が少額であるため。

職員全体の賃金水準が低く、直ちに月額平均8万円等まで賃金を引き上げることが困難であるため。

月額平均8万円等の賃金改善を行うに当たり、これまで以上に事業所内の階層や役職にある者に求められる能力や処遇を明確化することが必要であり、規程の整備や研修・実務経験の蓄積などに一定期間を要するため。

その他()

(7) キャリアパス要件Ⅴ 【新加算Ⅰ、Ⅴ(1)・(2)・(5)・(7)・(10)、旧特定Ⅰ】

キャリアパス要件Ⅴ(配置等要件) ⇒ 以下の欄が「○」の場合、要件を満たしている。

旧特定加算Ⅰの要件(4・5月)	⇒ ○
新加算Ⅰ、Ⅴ(1)・(2)・(5)・(7)・(10)の要件(6月以降)	⇒ ○

(8) 職場環境等要件

【新加算Ⅰ・Ⅱ、Ⅴ(1)~(7)・(9)・(10)・(12)又は旧特定Ⅰ・Ⅱを算定する場合】

該当

⇒ 届出に係る計画の期間中に実施する事項について、チェック(✓)すること。複数の取組を行い、「入職促進に向けた取組」、「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」、「両立支援・多様な働き方の推進」、「腰痛を含む心身の健康管理」、「生産性向上のための業務改善の取組」、「やりがい・働きがいの醸成」の6区分から任意で3つの区分を選択し、選択した区分でそれぞれ1つ以上の取組を行うこと。

区分	内容	判定
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	○
	<input type="checkbox"/> 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	
	<input type="checkbox"/> 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	
	<input type="checkbox"/> 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	○
	<input type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	
	<input type="checkbox"/> エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入	
	<input type="checkbox"/> 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	
両立支援・多様な働き方の推進	<input type="checkbox"/> 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	○
	<input type="checkbox"/> 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	
	<input type="checkbox"/> 有給休暇が取得しやすい環境の整備	
	<input type="checkbox"/> 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	
腰痛を含む心身の健康管理	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	○
	<input type="checkbox"/> 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	
	<input type="checkbox"/> 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	
	<input type="checkbox"/> 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	○
	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化	
	<input type="checkbox"/> 5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備	
	<input type="checkbox"/> 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	
やりがい・働きがいの醸成	<input type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	○
	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	
	<input type="checkbox"/> 利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	
	<input type="checkbox"/> 支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	

【見える化要件】【新加算Ⅰ・Ⅱ、Ⅴ(1)~(7)・(9)・(10)・(12)、旧特定Ⅰ・Ⅱ】

・ 実施する周知方法について、チェック(✓)すること。なお、令和6年度中の見込みでも差し支えない。

ホームページへの掲載	<input checked="" type="checkbox"/> 職場環境等要件の25項目のうち、実施する取組項目の「障害福祉サービス等情報公表システム」での選択	○
	<input type="checkbox"/> 職場環境等要件の25項目のうち、実施する取組項目の自社のホームページへの掲載	

4 要件を満たすことの確認・証明

- 以下の点を確認し、満たしている項目に全てチェック(✓)すること。

確認事項	証明する資料の例 (指定権者からの求めに応じて提出)	○
<input checked="" type="checkbox"/> 処遇改善加算等として給付される額は、職員の賃金改善のために全額支出します。また、処遇改善加算等による賃金改善以外の部分で賃金水準を引き下げません。	就業規則、給与規程、給与明細等	○
<input checked="" type="checkbox"/> 令和7年度に繰り越す額(2(1)①iア)がある場合は、全額、令和7年度の更なる賃金改善に充てます。期間中に事業所が休廃止した場合には、一時金等により福祉・介護職員その他の職員の賃金として配分します。	就業規則、給与規程、給与明細等	○
<input checked="" type="checkbox"/> キャリアパス要件Ⅰ～Ⅲのうち、満たす必要のある項目について、証明となる書面を作成し、職員に周知しました。また、計画書の提出時点で書面の準備ができていない場合は、令和6年度中(令和7年3月末まで)に書面を整備します。	就業規則、給与規程、資質向上のための計画等	○
<input checked="" type="checkbox"/> 労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていません。	—	○
<input checked="" type="checkbox"/> 労働保険料の納付が適正に行われています。	労働保険関係成立届、確定保険料申告書	○
<input checked="" type="checkbox"/> 本計画書の内容を雇用する全ての職員に対して周知しました。	会議録、周知文書	○

※ 各証明資料は、指定権者からの求めがあった場合には、速やかに提出すること。

※ 本様式への虚偽記載のほか、旧3加算及び新加算の請求に関して不正があった場合並びに指定権者からの求めに応じて書類の提出を行うことができなかった場合は、障害福祉サービス等報酬の返還や指定取消となる場合がある。

本処遇改善計画書の記載内容・確認事項の内容に間違いありません。
記載内容を証明する資料を適切に保管することを誓約します。

令和 6 年 ○ 月 ○ 日 法人名 ○○ケアサービス
代表者 職名 代表取締役 氏名 厚労 花子

(確認用) 提出前のチェックリスト

(参考)本様式で一括して提出する事業所の数

- 以下の項目にオレンジ色の「×」がないか、提出前に確認すること。「×」がある場合、当該項目の記載を修正すること。

※ 空欄が表示される項目は、記入が不要であるため対応する必要はない。

3

2 賃金改善計画について		
(1)	令和7年度への繰越し見込額が令和6年度に増加する加算の見込額を超えない計画となっている	○
	令和7年度に繰り越す額を除いた加算額以上の賃金改善を行う計画となっている	○
	令和6年度に増加する加算の見込額を超える賃金改善を行う計画となっている	○
(2)	加算以外の部分で賃金水準を引き下げないことを誓約している	○
(3)	賃金改善を行う賃金項目及び方法を記載している	○

3 福祉・介護職員等処遇改善加算等の要件について			
(1)	月額賃金改善要件Ⅱ	旧ベースアップ等加算相当の2/3以上の新規の月額賃金改善を行う計画になっていること	○
(2)	月額賃金改善要件Ⅲ	令和5年度から継続して旧ベースアップ等加算を算定する事業所について、令和5年度以前からの賃金改善の取組の継続を誓約していること	○
		令和6年4・5月から新規にベースアップ等加算を算定する事業所について、旧ベースアップ等加算額以上の新規の賃金改善を行う計画になっていること	○
		福祉・介護職員について、賃金改善の見込額の2/3以上が、ベースアップ等に充てられる計画になっていること	○
		その他の職種について、賃金改善の見込額の2/3以上が、ベースアップ等に充てられる計画になっていること	○
(3)	キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱ	キャリアパス要件Ⅰ(任用要件・賃金体系の整備等)とキャリアパス要件Ⅱ(研修の実施等)の両方を満たすこと。ただし、満たさない場合は、令和6年度中(令和7年3月末まで)に福祉・介護職員の任用要件・賃金体系を定めること及び研修等に係る計画を策定し、研修の実施又は研修機会の確保を行うことを誓約していること	○
		キャリアパス要件Ⅰ(任用要件・賃金体系の整備等)とキャリアパス要件Ⅱ(研修の実施等)のどちらかを満たすこと。ただし、満たさない場合は、令和6年度中(令和7年3月末まで)に福祉・介護職員の任用要件・賃金体系を定めること又は研修等に係る計画を策定し、研修の実施又は研修機会の確保を行うことを誓約していること	○
(4)	キャリアパス要件Ⅲ	キャリアパス要件Ⅲ(昇給の仕組みの整備等)を満たすこと。ただし、満たさない場合は、令和6年度中(令和7年3月末まで)に昇給の仕組みを整備することを誓約していること	○
(5)	キャリアパス要件Ⅳ	賃金改善額が月額平均8万円以上又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者の数が事業所あたり1以上となるような計画になっていること。ただし、満たさない場合は、小規模事業所等である等の理由を記載すること	○
(6)	キャリアパス要件Ⅴ	キャリアパス要件Ⅴ(配置等要件)を満たすこと	○
(7)	職場環境等要件	新加算等の区分ごとに必要な数以上の職場環境等要件の取組を行っていること	○
		情報公表システム等での見える化要件を満たすこと	○

4 要件を満たすことの確認・証明

- 必要な項目が全て選択されていること
- 誓約・記名が行われていること

○

○

事業所個票 1

(1) 基本情報

障害福祉サービス等事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	障害福祉サービス等報酬総額【円/月】	処遇加算等総額【円/月】	処遇等除く総総額【円/月】
1334567890	東京都	東京都	千代田区	障害福祉事業所名称01	施設入所支援	2,250,000	400,000	1,850,000

(2) 新加算への推奨の移行パターン

R5年度末 (R6.3時点) の算定状況			
処遇加算 I	特定加算 I	ベア加算なし	合計
8.6%	2.1%	0.0%	10.7%

⇒ (3) のボタンからそれぞれの要件の充足予定を選択してください。

(参考) 算定対象月が令和6年4月～令和7年3月まで以外の場合は、以下に算定対象月を入力してください。

令和 年 月 ~ 令和 年 月 (12 カ月)

パターンA

新加算 I	交付金を取得する場合、4月からベア加算の算定が必要。その場合、6月以降は自然と新加算 I に移行可能。
15.9%	

パターンB

新加算 V (1)	4月からベア加算を算定せず、6月から月額賃金改善要件 II も満たさない場合、V (1) となる。なお、R7年度以降は月額賃金改善要件 II が必要。
13.1%	

(3) 令和6年4月以降の各要件の充足予定

		R6.3まで	R6.4~R6.5	R6.6~R7.3
月額賃金改善要件 II (Ⅲ)	前年度と比較して、旧ベースアップ等加算相当の加算額の3分の2以上の新たな基本給等の改善(月給の引上げ)を行う。	<input type="checkbox"/> 満たす <input checked="" type="checkbox"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件 I (任用要件・賃金体系の整備等)	福祉・介護職員について、職位、職責又は職務内容等に応じた任用等の要件を定め、それらに応じた賃金体系を整備する。	<input checked="" type="checkbox"/> IとIIともに満たす <input type="checkbox"/> IとIIのいずれか満たす <input type="checkbox"/> IとIIともに満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件 II (研修の実施等)	福祉・介護職員の資質向上の目標や具体的な計画を策定し、a 研修機会の提供、技術指導等又は b 資格取得の支援(シフト調整、休暇の付与、費用の援助等)を実施する。	<input checked="" type="checkbox"/> IとIIともに満たす <input type="checkbox"/> IとIIのいずれか満たす <input type="checkbox"/> IとIIともに満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件 III (昇給の仕組みの整備等)	福祉・介護職員について a 経験に応じて昇給する仕組み、b 資格等に応じて昇給する仕組み、c 一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み のいずれかを整備する。	<input checked="" type="checkbox"/> 満たす <input type="checkbox"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件 IV (改善後の賃金要件)	賃金改善後の賃金の見込額が年額440万円以上又は月額8万円以上の賃金改善が1人以上(経験・技能のある福祉・介護職員)。	<input checked="" type="checkbox"/> 満たす <input type="checkbox"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす ⇒ 要件を満たす職員数 <input type="text" value="0"/> <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす ⇒ 要件を満たす職員数 <input type="text" value="1"/> <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件 V (介護福祉士の配置等)	対象加算なし(自動的に要件を満たす)	<input checked="" type="checkbox"/> 満たす <input type="checkbox"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす ⇒ 対象加算なし <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす ⇒ 対象加算なし <input type="radio"/> 満たさない
職場環境等要件の上位区分	6つの区分から任意の3つの区分を選択し、区分ごとにそれぞれ1つ以上の取組を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 満たす <input type="checkbox"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 満たさない

(4) 令和6年4月以降の加算区分 ((3) の状況に基づき自動表示)

	R6.4~R6.5				R6.6~R7.3
加算区分	処遇加算 I	特定加算 I	ベア加算	合計	新加算 I
加算率	8.6%	2.1%	2.8%	13.5%	15.9%
加算の見込額	318,200 円 (159,100円/月)	77,700 円 (38,850円/月)	103,600 円 (51,800円/月)	499,500 円 (249,750円/月)	2,941,500 円 (294,150円/月)

※ 2 か月分の加算額

※ 10 か月分の加算額

事業所個票 2

(1) 基本情報

障害福祉サービス等事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	障害福祉サービス等報酬総額【円/月】	処遇加算等総額【円/月】	処遇等除く総総額【円/月】
1334567890	東京都	東京都	千代田区	障害福祉事業所名称〇2	生活介護	3,850,000	800,000	3,050,000

(2) 新加算への推奨の移行パターン

R5年度末 (R6.3時点) の算定状況			
処遇加算Ⅲ	特定加算なし	ベア加算	合計
1.8%	0.0%	1.1%	2.9%

⇒ (3) のボタンからそれぞれの要件の充足予定を選択してください。

(参考) 算定対象月が令和6年4月～令和7年3月まで以外の場合は、以下に算定対象月を入力してください。
 令和 年 月 ～ 令和 年 月 (12 カ月)

パターンA

新加算Ⅲ
6.7%
 キャリアパス要件Ⅰ～Ⅲを「R6年度中の対応の誓約」で満たし、4月から旧処遇加算Ⅰを算定可。その場合、6月以降は自然と新加算Ⅲに移行可能。さらに、新加算Ⅱへの移行も推奨。

パターンB

新加算Ⅳ
5.5%
 キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱを「R6年度中の対応の誓約」で満たし、4月から旧処遇加算Ⅱを算定可。その場合、6月以降は自然と新加算Ⅳに移行可能。

パターンC

新加算Ⅴ (13)
4.1%
 誓約をしなくてもⅤ(13)は算定可。ただし、R7年度以降、キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱは必須であり、いずれにせよR6年度中の対応は必要なため、より加算率が高い新加算Ⅳを推奨。

(3) 令和6年4月以降の各要件の充足予定

	R6.3まで	R6.4～R6.5	R6.6～R7.3
キャリアパス要件Ⅰ (任用要件・賃金体系の整備等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キャリアパス要件Ⅱ (研修の実施等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キャリアパス要件Ⅲ (昇給の仕組みの整備等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キャリアパス要件Ⅳ (改善後の賃金要件)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キャリアパス要件Ⅴ (介護福祉士の配置等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職場環境等要件の上位区分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) 令和6年4月以降の加算区分 ((3) の状況に基づき自動表示)

R6.4～R6.5					R6.6～R7.3	
加算区分	処遇加算Ⅰ	特定加算なし	ベア加算	合計	新加算Ⅲ	
加算率	4.4%	0.0%	1.1%	5.5%	6.7%	
加算の見込額	268,400円 (134,200円/月)	0円 (0円/月)	67,100円 (33,550円/月)	335,500円 (167,750円/月)	2,043,500円 (204,350円/月)	

※ 2か月分の加算額

※ 10か月分の加算額

事業所個票 3

(1) 基本情報

障害福祉サービス等事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	障害福祉サービス等報酬総額【円/月】	処遇加算等総額【円/月】	処遇等除く総総額【円/月】
1334567892	東京都	東京都	中央区	障害福祉事業所名称〇3	就労継続支援A型	4,250,000	800,000	3,450,000

(2) 新加算への推奨の移行パターン

R5年度末 (R6.3時点) の算定状況			
処遇加算Ⅲ	特定加算なし	ベア加算なし	合計
2.3%	0.0%	0.0%	2.3%

⇒ (3) のボタンからそれぞれの要件の充足予定を選択してください。

(参考) 算定対象月が令和6年4月～令和7年3月まで以外の場合は、以下に算定対象月を入力してください。

令和 年 月 ～ 令和 年 月 (カ月)

パターンA

新加算Ⅳ	キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱを「R6年度中の対応の誓約」で満たし、4月から旧処遇加算Ⅱを算定可。加えて、交付金取得のため4月からベア加算を算定することで、6月以降、新加算Ⅳに移行可能。
6.3%	

パターンB

新加算Ⅴ(11)	キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱを「R6年度中の対応の誓約」で満たし、4月から旧処遇加算Ⅱを算定可。その上で、4月からベア加算を算定せず、6月から月額賃金改善要件Ⅱも満たさない場合、Ⅴ(11)となる。
5.0%	

パターンC

新加算Ⅴ(14)	誓約をしなくてもⅤ(14)は算定可。ただし、R7年度以降、キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱは必須であり、いずれにせよR6年度中の対応は必要なため、より加算率が高い新加算Ⅳ又はⅤ(11)を推奨。
3.2%	

(3) 令和6年4月以降の各要件の充足予定

		R6.3まで	R6.4～R6.5	R6.6～R7.3
月額賃金改善要件Ⅱ(Ⅲ)	前年度と比較して、旧ベースアップ等加算相当の加算額の3分の2以上の新たな基本給等の改善(月給の引上げ)を行う。	<input type="checkbox"/> 満たす <input checked="" type="checkbox"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件Ⅰ(任用要件・賃金体系の整備等)	福祉・介護職員について、職位、職責又は職務内容等に応じた任用等の要件を定め、それらに応じた賃金体系を整備する。	<input type="checkbox"/> IとⅡともに満たす <input checked="" type="checkbox"/> IとⅡのいずれか満たす <input type="checkbox"/> IとⅡともに満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件Ⅱ(研修の実施等)	福祉・介護職員の資質向上の目標や具体的な計画を策定し、a 研修機会の提供、技術指導等又は b 資格取得の支援(シフト調整、休暇の付与、費用の援助等)を実施する。	<input type="checkbox"/> IとⅡともに満たす <input checked="" type="checkbox"/> IとⅡのいずれか満たす <input type="checkbox"/> IとⅡともに満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない	<input checked="" type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件Ⅲ(昇給の仕組みの整備等)	福祉・介護職員について a 経験に応じて昇給する仕組み、b 資格等に応じて昇給する仕組み、c 一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み のいずれかを整備する。	<input type="checkbox"/> 満たす <input checked="" type="checkbox"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input checked="" type="radio"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす <input type="radio"/> 令和6年度中に満たすことを誓約 <input checked="" type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件Ⅳ(改善後の賃金要件)	賃金改善後の賃金の見込額が年額440万円以上又は月額8万円以上の賃金改善が1人以上(経験・技能のある福祉・介護職員)。	<input type="checkbox"/> 満たす <input checked="" type="checkbox"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす ⇒ 要件を満たす職員数 <input checked="" type="radio"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす ⇒ 要件を満たす職員数 <input checked="" type="radio"/> 満たさない
キャリアパス要件Ⅴ(介護福祉士の配置等)	福祉専門職員配置等加算を算定する。	<input type="checkbox"/> 満たす <input checked="" type="checkbox"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす ⇒ <input checked="" type="radio"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす ⇒ <input checked="" type="radio"/> 満たさない
職場環境等要件の上位区分	6つの区分から任意の3つの区分を選択し、区分ごとにそれぞれ1つ以上の取組を行う。	<input type="checkbox"/> 満たす <input checked="" type="checkbox"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす <input checked="" type="radio"/> 満たさない	<input type="radio"/> 満たす <input checked="" type="radio"/> 満たさない

(4) 令和6年4月以降の加算区分((3) の状況に基づき自動表示)

	R6.4～R6.5				R6.6～R7.3
加算区分	処遇加算Ⅱ	特定加算なし	ベア加算	合計	新加算Ⅳ
加算率	4.1%	0.0%	1.3%	5.4%	6.3%
加算の見込額	282,900円 (141,450円/月)	0円 (0円/月)	89,700円 (44,850円/月)	372,600円 (186,300円/月)	2,173,500円 (217,350円/月)

※ 2か月分の加算額

※ 10か月分の加算額